

アッケシランドを訪ねた人々



浅口少年スポーツ団



おかやま山陽高校サッカー部



寄小アッケシソウ説明会



開花宣言の日に

アッケシソウ通信

第8号

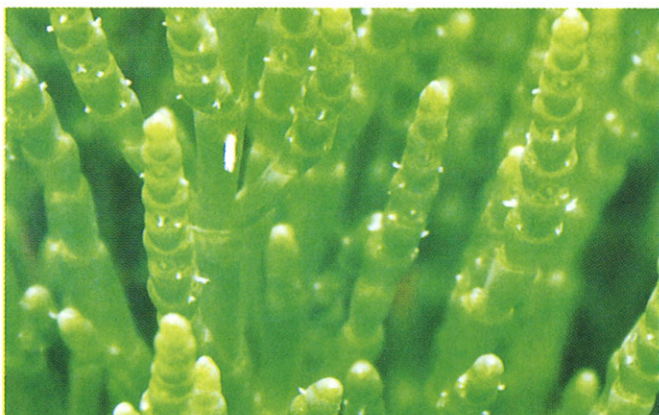
平成30年10月



見学の人たち



かわいい見学者



開花(9月)



紅葉

「みどりの愛護」 国土交通大臣賞を受賞

去る五月十九日浅口市長より、「みどりの愛護」に関する国土交通大臣賞決定の正式文書を受け取りました。

その伝達式が六月十五日（金）十時から、アツケシランド展望台で行われ、栗山康彦長より感謝状を、中野留美教育長より記念品を授与され、守る会会員一同大いなる感動と喜びを感じました。



表彰伝達式の日に



感謝状と記念品

この「みどりの愛護」の国土交通大臣賞は、国内の緑を大切に保護育成する民間ボランティア団体への、期待と励ましの表彰であります。本州唯一の絶滅危惧種アツケシソウを守る会の、長年のたゆまぬ努力と活動への評価と嬉しく受け取りました。

今日まで守る会を熱心にご支援ご指導くださいました行政並びに研究機関の皆様方、そして守る会の会員全員で、この表彰を喜び合い、さらなる活動への原動力にと決意を新たにしています。お世話になりました皆様方に心からの感謝と御礼を申しあげます。

第十九回サンエイ基金助成金を贈呈される

サンエイグループ基金への希望助成金額三十万円が認められ、去る四月二十七日（金）、岡山コンベンションセンターでの贈呈式に、アツケシソウを守る会前事務局田口智子さんと会長が出席し、目録三十万円を贈呈されて帰りました。

贈呈式は会長挨拶の後に、大嶋啓介氏の熱気あふれる講演に続き、県内外の各種ボランティア団体への基金贈呈が行われました。

守る会では、この基金で次の設備を購入でき大助かりです。

誠に有り難うございました。



- ① テント二張
- ② ベンチ二脚
- ③ 祭り用幡旗

笠岡東ロータリークラブより寄付金

笠岡東ロータリークラブから、今年も寄付金二万円を賜りました。ご支援のご厚志に心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

アツケシソウを守る会

活動方針

- アツケシランドの整備充実、ならびに新会員の加入に努める。
- 保護活動に関わる情報の収集および研修に努める。
- アツケシソウの生育保護について岡山理科大学との共同研究により、適切な保護対策を立てる。

平成三十年度 事業内容

- 4月21日(土) 総会
- 5月9日(木) 会員研修視察 (徳島県かずら橋山草園)
- 5月19日(土) 第1回自生地草刈清掃
- 6月23日(土) 第2回自生地草刈清掃
- 7月21日(土) フラワーロード草刈整備
- 9月8日(土) 緑のアツケシソウを 楽しむ会(開花遅れで中止)
- 9月15日(土) 第3回自生地草刈清掃
- 10月上旬 アツケシソウ通信第8号発行
- 10月12日(金) アツケシソウ祭準備
- 10月13日(土) アツケシソウ祭 (ガイド・通信・絵葉書等)
- 10月23日(火) (ガイド・通信・絵葉書等)
- 10月24日(水) アツケシソウ祭片付け
- 冬季 自生地整備・巡視
- 随時 役員会・調査活動・害虫発生調査等

企業等賛助会員

アツケシソウを守る会の活動資金充足のため、今年度から企業賛助会員をお願い致しましたところ、実に三十四の企業・病院・金融関係・商店等からのご協力、ご支援をいただきました。心からの御礼を申し上げます。(アイウエオ順列記)

- ㈱アキタ帽子
- 池田歯科医院
- ㈱一力興業
- ㈱SKフォーム
- ㈱オカベポリ工業
- 笠岡信用組合 寄島支店
- 垣内フォトスタジオ
- ㈱川崎商会
- ㈱吉川隆泉堂
- くにもと内科小児科医院
- 金光病院
- ㈱齋藤教材
- ㈱齋藤産業
- しろうま歯科クリニック
- ㈱菅呉服店
- ㈱西備サービス
- セイブスポーツ
- ㈱妹尾溶接
- 高山医院
- ㈱中央ガス
- ㈱中備化工
- 司法書士法人 ピュアライフ
- ㈱栄宏
- ㈱美星ミート
- 医療法人 福嶋医院
- ㈱道廣製帽
- ㈱ミヤケ建設
- 医療法人 みわ記念病院
- ㈱めぐみ
- 山下農機商会
- 印刷のよこやま
- 医療法人 よりしま中西医院
- ロソン浅口寄島店
- J A 岡山西寄島支店

「守る会」研修旅行

― かずら橋山草園に熊谷草を訪ねて ―

荒川 晃行

五月九日の早朝会貞一八名、小型バスに乗りし、一路かずら橋山草園に向けて出発。バス内は、静かな雰囲気、車窓から山並みを眺めると新緑の若葉が目にとまりました。

かずら橋山草園(徳島県三好市西祖谷山村)は、オーナーの井本清史さんが、昭和五五年に京阪神から帰郷し、自宅の山林を開拓造成した杉林に囲まれた面積約二十アールで、国見山を正面にした標高七百メートルに位置しています。



熊谷草の群生

目的地に近づくにつれて谷間の道路から車外に目をやると、畑地は少なく狭隘であった。程なくして目的地に到着。曇天の中下車し、オーナーの井本さんの案内のもと園内の花々の懇切な説明を受けました。先ず見事な稀少植物熊谷草の千二百株以上の群生に目を奪われ、続いて

山シャクナゲ草・クリン草・コケイラン・ジエビネ・カツコウ草・ユキモチ草・ムサシアブミ・キエビネ・イワギリ草・イワドリ草・シラミネアオイなど、五十種類以上の美しい花々に感動。標高が高いことから、平野部では既に咲き終わった花々も見頃で、私達を出迎えてくれたようでした。

今回の研修旅行で思ったことは、当地の山野草の様に多種の花期が異なっていると、草刈作業など大変で、細やかな育成保護活動が必要であると強く感じました。

最後にこの園の管理状況を尋ねると、会員二二名で、毎月常時五名が担当しているとのことでした。

守る会 作業会員 大募集!!

「守る会」の会員は現在、企業等賛助会員、個人賛助会員、作業会員を合わせて百三名。その内作業会員は一七名です。守る会発足当時六十歳代であった作業会員も、八十半ばを越え、草刈り等の作業が困難となり、離脱を余儀なくされました。

そんな時、おかやま山陽高校サッカー部、空手部の皆さん、少年スポーツ団の皆さんの若い力。そして、浅口清掃センターや一力興業社員の皆さんの力強いボランティア活動に助けられたの今日があります。

浅口市内外の皆さんの作業会員入会をお待ちしています。なお、会費は年間千円で寄島サンバレー事務局までご連絡下さい。

編集後記

「アツケシソウ通信」第八号をお届け致します。発刊にあたり、ご多用の中を早速の玉稿を賜りました栗山康彦市長に、心からの御礼を申し上げます。

今夏のうち続いた猛暑による成育の遅れでアツケシソウの開花が遅れ、加えて予定日が悪天候のため、「緑のアツケシソウを楽しむ会」はやむなく中止となりました。

九月十四日午後やと開花宣言を行い、当日恒例の「アツケシソウ説明会」に訪れた寄島小学校五年生の皆さんの、熱心な観察学習態度と活発な質問に元気を貰いました。

子どもたちもアツケシソウも、かけがえない大切な宝物です。皆様のさらなるご支援とご協力をお願い致します。